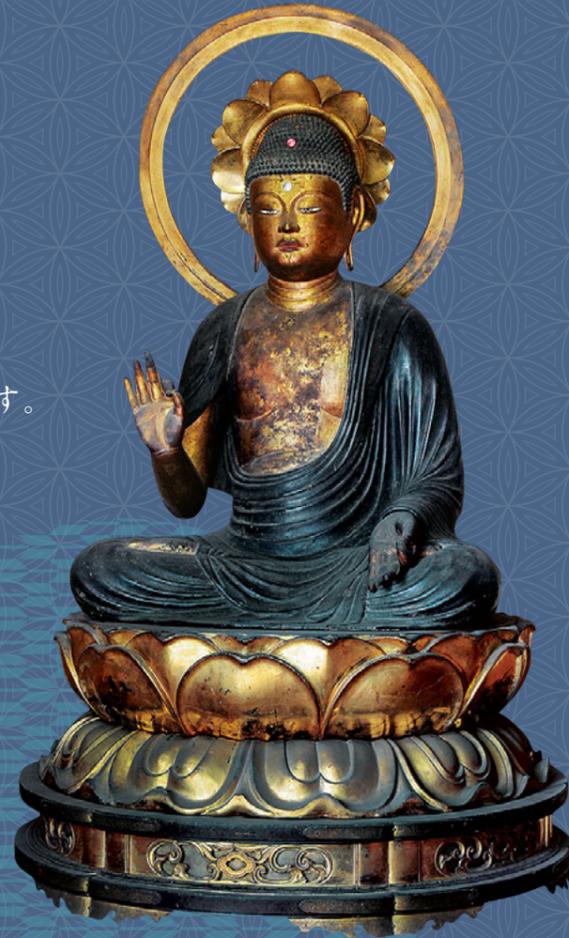


時の足跡

東松山の大地に刻まれた先人たちの生きた証。
時の流れに想いを馳せながら、その足跡をたどります。

丘陵の豊かな緑と河川の流に育まれた東松山の市域には、先人が残した有形・無形の文化財が今も数多く存在しています。この地で古代から人々の生活が営まれてきたことを示す約300か所の遺跡が残っています。また、これらたくさんの文化財が、当時の人々の生活や文化を今に伝えています。

The municipal area of Higashimatsuyama that was nurtured by the rich greenery of the hills and flowing rivers has about 300 historic sites showing how people have thrived here since ancient times. These cultural properties also tell us about the lives and culture of the people back then.



【野本】国指定重要文化財
木造阿弥陀如来坐像(等覚院)

県内でも屈指の優品とされ、市を代表する古仏の一つ。胎内に書かれた銘から鎌倉時代中期の1253(建長5)年に、仏師定性によって造られたと考えられています。



【松山】国指定重要文化財
箭弓稲荷神社本殿・幣殿・拝殿

現在の社殿は、1835(天保6)年に本殿と幣殿が上棟し、1840(天保11)年までに拝殿が竣工したとされます。本殿と拝殿の二棟を幣殿でない権現造りと呼ばれる建築様式で、江戸時代後期の同様式としては関東最大級の社殿です。外観には随所に精緻な素木の彫刻が見られる一方、本殿内部は豪華絢爛な極彩色が施され、好対照をなしています。



【高坂】市指定文化財
三角縁陳氏作四神二獣鏡

古墳時代前期の青銅製の鏡で、県内では初めて発見されました。ヤマト王権と密接な関わりを持つ人物が古墳時代初め頃の市域に存在していたことを示しています。



【野本】県指定文化財
古凍古墳群内土壙出土
鉄製壺罍及び馬具

古墳時代後期の馬具で鉄製壺罍は県内で初の出土です。当時の金工技法・技術を知る上で学術的価値の高いものとなっています。



【野本】市指定文化財
五領遺跡出土品

4世紀頃の遺跡で150軒以上の竪穴式住居跡などが確認されています。出土品は古墳時代前期の標式土器として「五領式土器」と命名されました。



【大岡】国指定重要文化財
大谷瓦窯跡

7世紀頃丘陵の斜面を掘りくぼめてつくられた登り窯の跡。寺院の屋根に使う軒丸瓦や平瓦、丸瓦、文字瓦などが出土しています。



【大岡】国指定重要文化財
光福寺宝篋印塔

1323(元亨3)年に建てられたもので鎌倉後期を代表する均整の取れた塔。塔の下からは白磁四耳壺などが発見されています。



【高坂】
岩殿観音
(巖殿山正法寺)

718(養老2)年に開基した古刹です。源頼朝は観音菩薩への信仰が厚く、妻である北条政子の守り本尊とするため、比企能員に命じて岩殿観音を再興したと伝えられています。



【松山】市指定文化財
水鳥を冠した人物埴輪

岩鼻23号墳出土。古墳時代後期のもので、鳥の冠帽をかぶった男子が小脇に何かを抱え手招きする造形は、全国で唯一です。

【高坂】県指定文化財
反町遺跡玉作工房関係遺物

反町遺跡は弥生時代から平安時代の遺跡で、古墳時代の装身具である「玉」をつくっていた工房跡が見つかりました。特にガラス小玉の鑄型は、2023(令和5)年に県指定文化財(有形・考古資料)に指定されました。



【野本】県指定文化財
将軍塚古墳

全長115m、後円部の高さ15m、前方部の高さ8mの前方後円墳で、近年、詳細な非破壊調査により、古墳時代前期後半に築造されたということがわかってきました。古墳時代前期としては県内最大の古墳です。



【東松山市】
埋蔵文化財センター

展示室では、市内の遺跡からの出土品を展示しています。開放廊下からは、整理作業の様子を見ることもできます。貴重な文化財を長く伝えられるよう取り組んでいます。